

板倉 克典 議員
日本共産党弥富市議団

問 来期からの介護保険料値下げを
答 基金を踏まえ適切に算定

○第10期介護保険事業計画について、以下を問う。

問 令和7年度末の介護保険支払準備基金の額は。

答 健康福祉部長 令和7年度末は3億1,575万3,120円。

問 令和7年度の第15段階の第一被保険者数は。

答 第15段階は170人。

問 令和7年度の所得基準1,500万円以上の被保険者数は。

答 令和7年度のデータはないが、令和8年度直近では108人。

問 来年4月から始まる第10期介護保険事業計画で保険料所得段階を増やす考えは。

答 国の基本指針を踏まえ、本市の実情に即した適切かつ公平な保険料設定を目指す。

問 市長、副市長から、介護保険支払準備基金を2億円ほど残す指示があるか。

答 指示はない。

問 介護保険支払準備基金を3年一区切りの原則で取り崩し、第10期からの介護保険料値下げの考えは。

答 基金の状況を踏まえ、給付と負担のバランスを保ち、適切に算定する。



問 介護保険事業計画の地域分析は
答 地域の実情に応じ分析

○介護保険料の算出について、以下を問う。

問 8月に開催された第2回介護保険事業計画等策定委員会の内容は。

答 健康福祉部長 第9期計画の評価、第10期計画の体系・骨子案、介護・予防サービス等の見込量について協議した。

問 国の提示する算定基準「見える化システム」とは何か。

答 国が運営し、介護保険事業計画等を総合的に支援する情報システム。

問 見える化システムに市の被保険者の数や支払準備基金の額などを入力すると、介護保険料が算出できるのか。

答 保険料を直接計算するものではなく、算定に必要な基礎資料を得るもの。

問 2040年頃の高齢者数のピーク値を含め、地域分析を進めているか。

答 国の指針に基づき、地域の実情に応じたサービス提供体制の構築に向け地域分析を進めている。

